

国保・医療・介護・年金・生活保護など

生活よろず相談会

ケアマネジャー、ケースワーカー、看護師、市議員などが相談に応じます

困っている患者さんへご案内をお願いします **相談は無料**

- ☆国保料が高くて払えない!
- ☆保険証がなくて病院へ行けなく、困っている!
- ☆介護保険の受け方がわからない!
- ☆介護認定が厳しくて困っている!
- ☆仕事がなく、生活に困っている!
- ☆医療費が高くて、病院へいけない!
- ☆住居を失くしてホームレス状態です!
- ☆東日本大震災で被災して、関西に避難しているが困っている!
- ☆その他のお困りごと……!



これまで阪神尼崎駅前で行った「反貧困よろず相談会」での相談員の皆さん

どうしても相談会場へ出向くことができない場合は、090-1964-4420(徳田)まで。

日時 **7月28(土) 午後1時半~4時**

場所 **立花地区会館・会議室**



主催 **尼崎社会保障推進協議会**

連絡先 尼崎医療生協 ひだまりの里(担当 堤) ☎4962-5920

参加団体 尼崎生活と健康を守る会(☎6481-1686)、保険医協会尼崎支部(☎078-393-1817)
尼崎医療生協(☎6436-9500)、尼崎労連(☎6488-1478)、あすひらく会(☎6426-7243)
年金者組合(☎6418-3944)、共産党市議団(☎6489-6070)、尼崎民商(☎6482-1735)
新日本婦人の会(☎4961-0602)、尼崎借地借家人組合(☎6429-1500)、など

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

334号

2012年7月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

尼崎アスベスト裁判

国とクボタに法的責任を

判決前集會に200人参加

尼崎市のクボタ旧神崎工場内外で中皮腫などの健康被害が発覚した「クボタショック」から7年が経過した。協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」は7月14日、「クボタショックから7年!判決前決起集會」を尼崎市中小企業センターで開催し、200人が参加した。

同会が支援する尼崎アスベスト訴訟は、悪性胸膜中皮腫で死亡した住民の2遺族が神戸地裁に提訴したもので、工場周辺住民の健康被害に対する国とクボタの加害責任を問う全国初の公害型裁判で、8月7日に判決日を迎える。船越正信会長(尼崎医療生協理事長)は、あいさつで「クボタがまき散らしたアスベストで、工場周辺の多くの市民が亡くなるなど大きな被害を受けている。2遺族は氷山の一角に過ぎない。今回の訴訟は、危険を知らながらアスベストを使用し続けたクボタと、使用禁止を遅らせて被害を拡大させた国の責任を問う裁判。アスベストは多くの建物に使用されており、東日本大震災でも数十年にわたる被害が予想される。今後発生する全国の被害者に救済の道を開くものになる」と裁判の意義を強調した。

八木和也弁護士団長が訴訟の到達点を報告、田中康夫衆院議員(新党日本代表)らがあいさつし、泉南アスベスト国賠訴訟弁護士団長ら関係団体がガリレートークを行った。

同会では、勝訴をめざし「公正な判決を求める要請署名」を集め、6万9000筆を神戸地裁に提出。判決日の8月7日には報告集會を開催予定で、協会も参加・協力していく。



アスベスト訴訟 判決前集會・報告集會 於:神戸市立中央体育館前広場

8月7日(火) 13時~ 判決前集會
14時~ 判決言い渡し
15時~ 報告集會 (於:「あすてっぷ神戸」)

金楽寺健康教室

日常的な意識で脱水を防ぐ

梅雨に入り今年も厳しい暑さが見込まれる中、尼崎支部では阪神・淡路震災対策として取り組んでいる、金楽寺復興住宅での健康教室を6月20日(水)に開催した。今回は、細川隆久先生(細川内科医院)が「高齢者の熱中症について」をテーマに講演し、入居者10人が参加した。

細川先生は、熱中症は基本的に脱水で起こること、脱水は熱中症以外に重篤な合併症を引き起こすこと、日常診療のよくある熱中症の原因と注意点などをわかりやすく説明した。最も気をつける点として、①水分補給をこまめに、②体温調節はエアコンで、③自分の体にあった運動は熱中症の予防になる、④飲んでいる薬や病気のことを良く知っておく、⑤おかしいと思えば直ぐに119番を、の5点を指摘した。

入居者からは、「熱中症対策に牛乳が良いと聞いたが本当か」「コーヒーをたくさん飲んでいるが控えた方がよいのか」などの質問が出された。

医療と福祉を考える会

綺麗な爪に生まれ変わらせる

6月14日(木)池田病院において「フットケア技術の見直しとスキルアップ」をテーマに、爪切り屋メディカルフットケア大阪代表の茂木淳子氏が講演を行い、介護士やケアマネージャーなど62人が集まった。

茂木氏は、爪は全身の健康と関係しており、「伸びているから切る」「大きな爪をどう切るか」ではなく、爪の下の真皮への影響を考えた「いかに綺麗な爪に生まれ変わらせるか」を考えたケアが重要であると説明。実際には真皮に衝撃を与えてしまう間違っただ爪切りが多く、巻き爪などの原因となっていることを指摘した。また爪のケアが爪白癬に効果があることなどを例にあげ、医療の現場で、痛みや不快感を与えない、正しい爪切りを学ぶ必要性を呼びかけた。

講演終了後には、参加者の魚の目を削る実践が行われ、皆で講師のケア技術に熱心に見入るなど大盛況となった。



ケアで綺麗になった爪の紹介では驚きの声が上がった

第463回幹事会だより

7月13日(金)於 阪神出屋敷「蓮こん」 参加:7人

- 尼崎支部の会員数と組織率
7/13現在 医科382人、歯科135人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
震災がれき尼崎沖受け入れ問題、生活保護受給患者のジェネリック医薬品義務づけ問題など意見交換した。
- 当面の支部活動
7月26日(木)医療と福祉を考える会、11月には文化企画として「秋の武庫川散策」を開催予定。
- 次回の幹事会
8月24日(金)20時からJR立花「宝」で開催。
お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで

パンフレット「TPPが医療を壊す」が完成しました。

2010年10月、当時の菅直人首相は突然「TPP(環太平洋パートナーシップ協定)交渉等への参加を検討」することを表明しました。

TPP参入で国民皆保険など日本の医療にどのような影響を与えるのか。TPPの危険な狙いを明らかにしたパンフレットです。ぜひご活用ください。

1部150円(送料別)

お求めは兵庫県保険医協会政策部まで

(TEL 078-393-1807, FAX 078-393-1802)



健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451

< 8月のテーマ > ※8月10日～15日は金土日のテーマを放送

- 月曜日 モノがゆがんで見える黄斑変性症
- 火曜日 定期歯科検診のおすすめ
- 水曜日 膝の痛みー変形性膝関節症ー
- 木曜日 夜間頻尿の治療について
- 金土日 ステロイド外用剤のはなし

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。 <http://www.hhk.jp/>